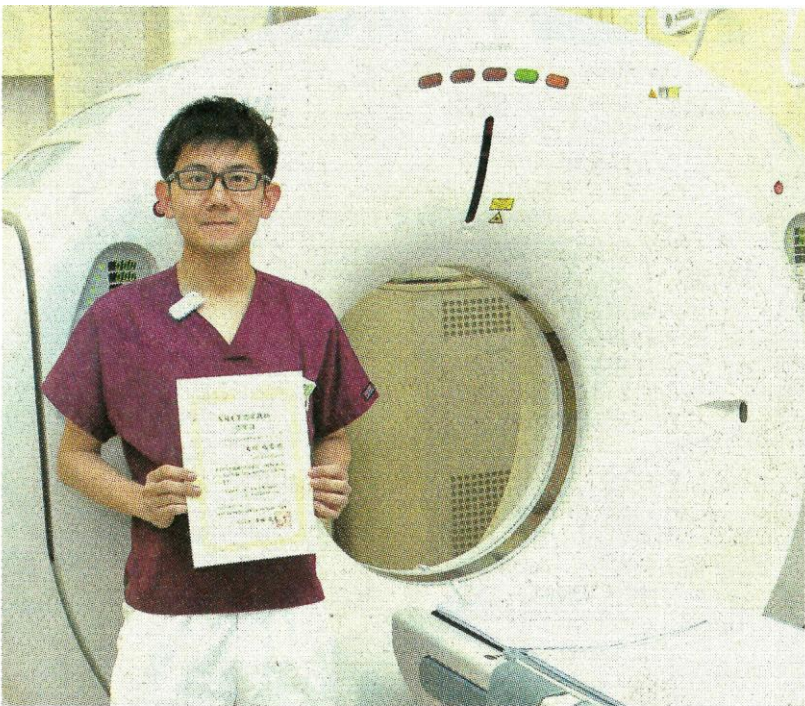


製鉄記念室蘭病院の放射線技師・大川さん

「X線CT認定」資格を取得

室蘭市知利別町の製鉄記念室蘭病院（松木高雪病院長）の放射線技師・大川裕貴さん（28）が、NPO法人「日本X線CT専門技師認定機構」（千葉県中央区）が認定する「X線CT認定技師」の資格を取得した。同病院によると西胆振では初のケースといい、大川さんは「自信になる。業務を充実させたい」と話している。（松岡秀宣）



「X線CT認定技師」の資格を取得した大川さん

「安心できる検査を」初振胆西

X線CT装置は断面像だけでなく、3次元の立体画像での表示も可能になる。など、現代医療にとっては不可欠な検査。一方で、機器の進歩も著しく、複雑化した技術への対応や、被ばく線量の管理などの専門性・安全性の担保も重要視されている。

こうした状況を受け、日本放射線技術学会と日本放射線技師会、日本医学放射線学会の代表らが参画し、2011年（平成23年）10月に同機構を設立。検査技術のレベルアップなどを目的に、試験に合格した放射線技師について「X線CT認定技師」として認定している。

大川さんは「スキルアップにつなげたい」として、初挑戦した今年2月の試験で見事に合格した。同病院の関係者も「知識を持つ技師として、リーダー的な存在としての活躍を」（高野正幹放射線・画像診断室技師長）と期待を込める。

東京電力福島第一原発の事故以来、検査を受ける人の中には、放射能への不安を抱く人も増えているという。大川さんは「安心して検査を受けていたできるように努めていきたい」と意気込んでいる。